

## 登園許可証明書

真愛保育園 園長様

園児名 \_\_\_\_\_

病名「 \_\_\_\_\_ 」

月 \_\_\_\_\_ 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので  
登園可能と認めます

令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

医療機関

\_\_\_\_\_  
医師名

\_\_\_\_\_  
印

保育園は乳幼児が集団で長時間生活する場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、子ども達が一日快適に生活できるよう願っています。

つきましては、保育園児がよくかかる下記の感染症について、登園許可証明書の提出をお願いいたします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園生活が可能な状態となつてからの登園であるようご配慮ください。

病名	潜伏期間	主な症状	学校保健安全法による出席停止の期間の基準
インフルエンザ	1～2日	突然の高熱、頭痛、筋肉痛など。気管支炎、咽頭炎、肺炎などの合併症や熱性けいれんが起きることもある。	発症後5日を経過し、かつ、解熱後3日を経過するまで。
百日咳	6～15日	風邪と変わらず、くしゃみ、咳、鼻水が出る。1～2週間で咳がひどくなる	特有の咳が消失するまで。又は5日間の適正な抗菌性物質による治療が終了するまで。
麻疹（はしか）	9～12日	くしゃみ、鼻水、結膜充血、目やに。一度熱が下がり再び発熱・発疹が出る。発疹は顔から始まり、全身へ広がる	解熱した後3日を経過するまで。
流行性耳下腺炎（おたふく）	14～24日	耳の下が腫れ、痛がる。発熱することもある。合併症で髄膜炎が心配される。	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現した後5日間経過し、かつ、全身状態が良くなるまで。
風疹（3日ばしか）	14～23日	発熱と同時に顔から始まる赤い発疹。やがて全身へ。麻疹に似ているが、麻疹より軽い。	発疹が消失するまで。
水痘（水ぼうそう）	14～21日	微熱とともに全身に発疹。水疱が胸やおなか、背中から出る。かゆみあり。	全ての発疹が痂皮化するまで。
咽頭結膜炎（プール熱）	5～6日	39度の熱が4～5日続く。喉の痛み、目の充血。	主要症状が消退した後2日を経過するまで。
結核	さまざま	風邪と似た症状。症状が進むと血痰が出たり胸が痛くなる。	医師が感染の恐れがないと認めるまで。
髄膜炎菌性髄膜炎	2～4日	頭痛、発熱、痙攣。乳児は大泉門膨隆。	医師が感染の恐れがないと認めるまで。
流行性角結膜炎（はやり目）	1週間	目やに、涙目、結膜の充血と浮腫・まぶたの発赤と腫脹。	感染力が強いため、結膜炎の症状が消失するまで。
腸管出血性大腸菌（O-157）	4～8日	初期は軽い腹痛と下痢。何日かすると激しい腹痛と血便。	医師が感染の恐れがないと認めるまで。